

03 :

ベネチアから
スキオへ

AM5:00起床。旅の日記をつけ、ホテルのベランタからサンマルコ広場方面を眺める優雅な時間。イタリアに来たんだという実感は薄く、時差ぼけもあり暫し思いにふける。ベネチアは天候が良くないと聞いていたが、今朝の天候は穏やかで、もったいないと思い、朝の散歩に出かける。AM7:00から8:00の間。サンタルチア駅周辺を冷たい朝の空気を味わいながら散歩する。昨日のベネチア入りしたときは小雨も降っており、また暗かったためローマ広場からホテル プリンチペまでの景色は殆ど楽しめていなかった。

運河を眺めたり、朝の通勤ラッシュのサンタルチア駅に佇んだり、鐘が鳴り響く教会を回ったり…。ようやく、イタリアに来たんだなと実感が湧いてくる。当たり前だけど、周囲のヒトの話す声は日本語でないし。

その後、ホテルに戻り、東京のPTの先生と朝食バイキングへ向かう。うわさ通りに生野菜が全くない。普通のクロワッサンかと思ったらハチミツ入りだったりする。軽いカルチャーショックを受ける。チーズは数種類あり、美味しかった。締めくくりはエスプレッソでゆっくりと過ごす。

AM9:00にチェックアウトし、スーツケースはホテルに預かってもらい、半日ベネチア観光を楽しむことにした。マスターコースが2度目となる東京の先生と共に行動したので、難なく楽しむことに専念できた。

朝の路地には至るところで朝市(?)のように食材が並べられていた。初めて、アンティチョークを生でみた。日本と違い、野菜は鮮やかに感じた。ああ、外国なんだなとさらに実感が湧く。

歩いて、近くのスーパーへ。パスタ・チーズ・ソースなんでもパッケージが可愛く色も鮮やかで見ているだけで楽しい。ホテルからサンマルコ広場方面をウィンドーショッピングしながら進む。途中、ジャパニメーションの店を発見。マニア心を触発され、店内に入る。店員は日本語が流暢。フィギュアなど日本の定価の1.5~2倍ぐらいの値段であった。間違いだらけの店員に、フィギュアの説明をすると喜んでくれた。

ぶらぶら歩いていると、一番行きたかった店の「マルキーニ」を発見。観光客が多く、店内はゴチャゴチャしていた。マルキーニはベネチアでは老舗の菓子店。ガイドブックを見ていた時から立ち寄って見たかった。そのまま、サンマルコ広場へ向かう。サンマルコ広場周辺は、冠水しており、路地には歩道橋がかげられていた。おかげで、サンマルコ広場は無駄にヒトが多くなく、すっきりとした写真を撮ることができた。

昼食は小さなパン屋のトルティーヤ。教会前の小さなベンチで頂く。私はスモークサーモンとチーズのトルティーヤ。サーモンの塩気が強かったが、食べ応えがあって美味しかった。

午後からはベネチアからスキオまでの小旅行。サンタルチア駅から出発しヴィチェンツァ駅で乗り換え、スキオ駅へ。イタリアでは駅に改札口はなく、自動刻印機に列車のチケットを挿入し刻印する。かなり、刻印は薄くアバウトな感じ。21番ホームより14:04発のヴィチェンツァ行きに乗る。バリアフリーでなく、搭乗口は段差が高く、スーツケースの移動に苦慮する。列車の中で、マルキーニで購入した、サットルテをおやつに食べる。チョコが濃く、中のリキュールシロップが美味しい。

列車の旅は、まるでテレビ番組の「世界の車窓から」のようであった。田園風景や雪化粧の山を眺めながら北に進む。スキオ駅に近づくと、アルプスの山々が見えてくる。認知運動療法の総本山に近づいたと思い、武者震いする。

スキオ駅で下車し、3日間宿泊するホテル「Mira Monti」へ。各方面から集まったセラピスト、韓国から参加しているセラピストたちと出会う。夕食はマスターコースで定着している「晩餐会」。DUE MORIにて。バターやオリーブ油、生クリームが使われた料理が多く、イタリアに来て2日間で早くも胸焼け状態。味噌汁が恋しくなる。晩餐会では、日ごろの臨床や悩み等で多くのセラピストと話をすることができた。しかし、基本的に人見知りな私は、一度に多くのヒトと接したため、ぐったりとしてしまった。

ホテルの同室者は東京のPTの先生。3日間の短い付き合いであるが、共に過ごす貴重な時間で語り合う。明日からは、いよいよコースが始まる。早めの就寝に心がけたが、ベッドの中でなかなか寝付けなかった。

day of travel with train

半日ベネチア観光、サンタルチア駅からスキオ駅までの小旅行 etc



半日のベネチア・プチ観光**

ホテルをチエックアウトしてから、ベネチアをプチ観光する。コース終了後、ベネチアに2泊する予定で、お土産購入の下調べも兼ねていた。

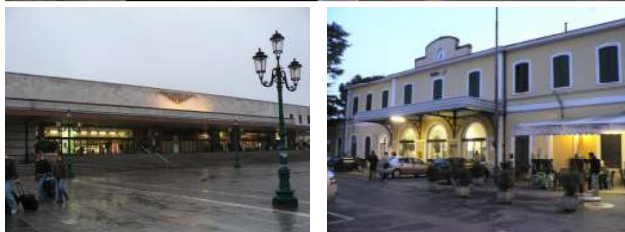
お昼に食べたトルティーヤは2.5ユーロ、おやつはザットルテも1.10ユーロ（この時は1ユーロが110円から130円ぐらい）で300円前後で思っていたより安かった。

あいにくの天候で、サンマルコ広場は曇り空&冠水していたが、異国の雰囲気はよかった。

サンタルチア駅からスキオ駅まで...

ベネチアの入り口にあたるサンタルチア駅からヴィチエンツァ駅へ向かい、乗り換えスキオ駅へ。列車内はアナウンスもなく、手元に路線図もないため、駅停車ごとに駅名を確認する。

車掌も列車内を回ることもなく、日本と違いアバウトな感じ。各駅は基本的にバリアフリー使用でないため、スーツケースを運ぶのにも一苦労。



HOTEL MIRA MONTI

スキオ駅から歩くこと10分程度。コース中に滞在するホテルに到着。鍵は、羊を模った可愛いものの。ホテルにはバールが併設されていた。



↑ 列車の特急チケット。改札口はないので、自動刻印機に通します

